阿賀野市　総務部　危機管理課

令和４年度　阿賀野市地域防災計画の一部改訂について

１　一部改訂の背景

令和３年５月の災害対策基本法が一部改正され、現行の阿賀野市地域防災計画は、国の防災基本計画や新潟県地域防災計等上位計画との整合性を図り防災体制及び災害対策をより実効性を高くし、令和４年４月に一部改訂したものです。

また、新潟県は平成16年10月の新潟県中越地震や平成19年7月の新潟県中越沖地震といった県内に大きな被害を生じさせた地震を経験するとともに、東日本大震災を始め県外でも大きな被害を生じさせた地震が発生し、前回調査から20年以上を経過していること、想定技術の進歩や社会情勢の変化、また津波浸水想定の調査結果などを踏まえ、令和元年度から３年度にかけ２回目の「地震被害想定調査」を実施し、令和４年３月に報告書にまとめた調査をもとに、内陸については震度６弱以上、海域については津波浸水深50㎝以上の県内曝露人口を算出し、曝露人口が多い地震を優先し、中枢都市に影響する震源断層を考慮しつつ、地域バランスを考慮して内陸６地震、海域３地震の計９地震で、被害の様相が異なる３シーンで被害想定を行い、修正した。

本市においては、令和４年３月に修正した新潟県地域防災計画との整合性を図り、防災体制及び災害対策をより実効性の高いものとするため、このたび阿賀野市地域防災計画の一部改訂を行うものです。

２　一部改訂のポイント

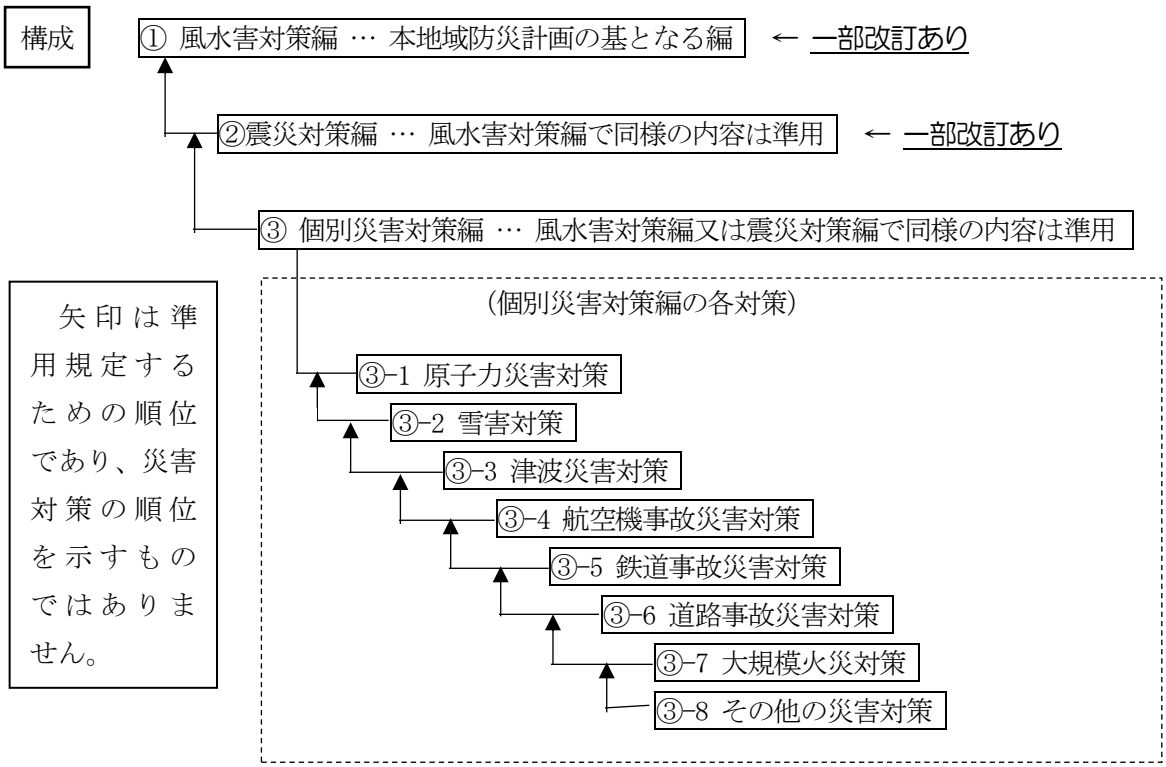
（１）　令和４年３月修正の新潟県地域防災計画の修正ポイント、新型コロナウイルス感染症対策、女性や多様な性の視点、様々な障がい特性を踏まえ、新潟県地域防災計画と整合性を図りました。

（２）　本編及び資料編において、「羽越本線洪水防止連携事業」により橋梁の一部架け替え及び特殊堤による堤防のかさあげ等が完了し、満願寺観測所における基準水位が変更されたほか、気象情報内容や数値データ等の時点修正を図りました。

（３）　用語の現在化を含め文書を見直し、文言等の修正を行いました。

３　一部改訂の内容等（本編）

（１）　構成と一部改訂の有無（構成の変更はありません）



（３）　主な一部改訂の規定内容等

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所運営の留意点とし、自宅療養者等が指定避難所に避難する可能性を考慮し、保健福祉担当部局と防災担当部局に避難所運営に必要な情報を共有すること、男女共同参画及び性的少数者の視点に立った避難所運営として、女性や子ども等に対する性暴力・ＤＶの防止、昼夜間安心できる場所の確保、障がい者のさまざまな特性に配慮した、災害情報の提供のしかたを見直した。

資料編について

・記載内容のなかで、変更や修正等がある箇所を時点修正